

事業シート

事業名	茶畑の景観活用事業	事業開始年度	2022
上位施策事業名	第6次入間市総合計画後期基本計画第5章第3節第1項 「魅力発掘・開発の推進」 *関係する計画等 まち・ひと・しごと創生総合戦略 入間市SDGs未来都市計画 入間市シティセールス戦略プラン パーパスシンボリックアクション おいしい狭山茶大好き条例	担当局・部名	環境経済部
根拠法令等		担当課・担当名	商工観光課観光担当
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	鹿山 泰隆
実施の背景	入間市シティセールス戦略プランアクションプランに掲げる「茶畑の景観活用プロジェクト」の取り組みの1つとして実施。入間市は狭山茶の主産地であるが狭山茶や茶畑景観の観光資源としての有効活用や認知が不十分であること、また、市内の大型商業施設には県内有数の集客力があるがその後の市内周遊に繋がっていないことが課題となっている。当事業は、入間市が誇る広大な茶畑景観を活かした新たな観光事業として、2021(令和3)年度に構想し、2022(令和4)年度から事業を開始したものの。		
目的 (何のために)	入間市が誇る広大な茶畑景観や特産物である狭山茶を活かして、入間市に新たな観光スポットを作り、観光振興(入間市の魅力発信・観光客増加)や狭山茶振興(狭山茶の認知拡大・消費額増加)につなげるため。また、観光客が市内を周遊するきっかけを作り、地域経済の活性化につなげるため。		
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	国内外からの観光客	対象者数(全住民に対する割合) 算定不能 人 (%)
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者:株式会社A0BEAT)	
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕(補助先: 実施主体:)	
	<input type="checkbox"/> 貸付(貸付先:) <input type="checkbox"/> その他()		
事業内容 (手段、手法など)	<p style="text-align: center;">事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022(令和4)年度は基盤整備を目標に事業を実施。公募型プロポーザルで選定した委託事業者と連携して、茶畑テラスの開発、WEBサイトの開発、広告プロモーション、サービスプラン開発、予約受付業務、関係者との調整等を行い、2023(令和5)年3月に茶畑テラス「茶の輪」のサービスを開始した。 ・2023(令和5)年度は安定稼働を目標に、サービスの安定提供と運用体制の確立、認知拡大と集客施策に重きを置いて事業を実施。委託事業者と連携して、サービスのブラッシュアップ、WEBサイトの拡充や維持管理、広告プロモーション、予約受付業務、関係者との調整等を行い、「茶の輪」を企画運営した。また、埼玉県や埼玉県物産観光協会と連携し、インバウンド向けの取り組みを行った。 ・2024(令和6)年度は2023(令和5)年度までの取組をベースに、委託事業者と連携して、さらなる認知拡大と集客施策を行うとともに、事業のPDCAサイクルを回しながら、事業の効率化や今後の運営方法等について検討を行う。また、全国的に高まるインバウンド需要に備えるため、多言語による受入体制整備を新たに行う。 ・「茶の輪」は事前予約制の90分貸切テラス(有料)。お茶とお茶菓子がセットになっていて、お茶屋(受付店舗)の個性や季節に合わせたプランを用意している。利用者は、公式WEBサイトから好みのプランを選んで事前予約する。利用当日は、受付店舗で茶の輪ピクニックセットを受け取り、テラスへ移動してお茶や空間を自由に楽しむ。2024(令和6)年7月現在、参画している受付店舗は5つで、お茶セットの提供やテラス清掃等の当日対応を行っている。 		
関連事業 (同一目的事業等)			

事業シート

事業名		茶畑の景観活用事業						事業開始年度		2022							
コスト		2024 年度 (予算)		2023 年度 (決算)		2022 年度 (決算)		2021 年度 (決算)									
	事業費合計	9,791 千円		9,988 千円		10,999 千円				千円							
	事業費内訳 (2023年度分)	委託料 9,987,186円															
	担当正職員	0.29	人	2,291	千円	0.33	人	2,607	千円	0.58	人	4,582	千円	0.1	人	790	千円
	臨時職員等		人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
	人件費合計	0.29	人	2,291	千円	0.33	人	2,607	千円	0.58	人	4,582	千円	0.1	人	790	千円
	総事業費	12,082 千円		12,595 千円		15,581 千円		790 千円		千円							
財源内訳	国県支出金		千円	4,600 千円		5,499 千円				千円							
		国県支出金の内容		埼玉県ふるさと創造資金 (魅力ある地域づくり事業補助金)													
	地方債		千円		千円		千円		千円		千円						
	その他特財	5,000 千円		5,000 千円				千円			千円						
		その他特財の内容		ふるさと寄附金基金繰入金 (2023年度)、企業版ふるさと納税 (2024年度)													
	一般財源	7,082 千円		2,995 千円		10,082 千円					千円						
	財源合計	12,082 千円		12,595 千円		15,581 千円		790 千円		千円							
事業実績	活動実績	【活動指標名】 (実績値/目標値)			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度									
		利用者数			人	232/300	24/	/									
		予約組数			組	137/300	20/	/									
	単位当たりコスト			/													
成果目標 (指標設定理由等)	「茶の輪」のサービス等に対する利用者の評価から、観光スポットとしての質や魅力度を測る。メディア等への掲載件数、「茶の輪」公式WEBサイトのリーチ数・Instagramのリーチ数から、「茶の輪」のプロモーション効果と「茶の輪」をきっかけにした「入間市」「狭山茶」等のプロモーション効果を測る。「茶の輪」をきっかけにした観光客の来訪による地域への経済効果を測る。																
事業成果	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】 (実績値/目標値)			単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度									
		利用者アンケート結果 ①満足度②おすすめしたい			割	①10/8 ②9.4/8	①10/ ②9.1/	/									
		①「茶の輪」公式WEBサイトのリーチ数 ②「茶の輪」公式Instagram広告のリーチ数			件	①49,611/ ②1,732,601/	①6,559/ ②48,224/	/									
		メディア等掲載件数			件	13/15	14/	/									
		メディア等掲載による広告換算費			円	今後算出予定	今後算出予定	/									
		地域への経済効果 (「茶の輪」利用料と利用前後での食事や買い物等を含んだ現地消費額想定7,000円×利用者数【推計値】)			円	1,624,000 /2,100,000	168,000/	/									

事業シート

事業名	茶畑の景観活用事業			事業開始年度	2022
自己評価	廃止・凍結	国・県・広域	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善	現行通り・拡充	
評価の内容	<p>「茶の輪」の開発からサービスの運営までの業務を滞りなく実施し、茶畑景観や狭山茶を活かした新たな体験型観光スポットとして2023(令和5)年3月から2024(令和6)年3月までに256人の観光客を受け入れた。利用者アンケートでは、「この体験面白い」「狭山茶が好きになった」「360度茶畑が見渡せて気持ちよかった」などサービスの満足度は高評価となっている。また、オープン以降、多数のテレビや雑誌等で取り上げられ、全国に向けてその魅力を発信し続けており、入間市の観光振興や狭山茶振興の一翼を担っている。</p> <p>なお、今後は、事業の進捗状況を考察しながら、効率的な運営を検討していく方針である。すでに、2024(令和6)年度の委託料は、プロモーション費を中心に予算額から200万円以上を削減して契約を行っている。また、来年度以降は天候による影響等を考慮した営業期間の見直しも検討し、経費削減に努める。</p> <p>財源については、県支出金や企業版ふるさと納税などを積極的に活用しており、今後も機会を捉えて財源の確保策を検討していく。</p>				
課題	2023年度	<ul style="list-style-type: none">・天候による影響を受けるサービスであるため、利用に制約がある。・インバウンド向けの観光スポットとして県からの注目度が高いが、多言語による受入体制がない。・「茶の輪」周辺は私有地かつ農地であるため、営農と観光の両立を考慮した事業推進が必要となる。・農地法による規制や補助金交付要件などを考慮した事業推進が必要となる。・財源については、県支出金やふるさと寄附基金繰入金により確保しているが、さらなる財源の確保策を検討していく。			
	2024年度	<ul style="list-style-type: none">・2023(令和5)年度と同様の課題があるが、多言語による受入体制整備は2024(令和6)年度中に実施予定であり、天候による影響等を考慮した営業期間の見直しは来年度以降に検討する予定。・農地法の一時的転用許可期間が2025(令和7)年12月に終了することから、地権者交渉や法的手続き等を再度行うため、来年度に向けて準備を進める必要がある。・事業の進捗状況を考察しながら、効率的な運営を検討していく必要があり、活動指標や成果指標も随時見直す予定。・財源については、企業版ふるさと納税により確保しているが、さらなる財源の確保策を検討していく。			
今後の予定	<p>「茶の輪」は、狭山茶の代表的な観光スポットとして注目度が高まり始めており、メディア取材、リピーター利用、利用者によるSNS投稿も増えてきている。今後も、委託事業者や受付店舗と協力し、多言語対応も含めブラッシュアップをしながら満足度の高いサービスを維持するとともに、より多くの方に利用していただけるよう効果的なプロモーションを行っていく。また、埼玉県が募集する埼玉県の優れた逸品リストに「茶の輪」が見本として採用された他、埼玉県物産観光協会が募集するインバウンド誘致に向けた有力コンテンツに応募するなど、県と連携することで、広域的な取り組みも進める。事業推進にあたっては、営農と観光の両立、法令等の規制を考慮し、丁寧に進めていく。当事業による効果は、単に利用者数だけで図ることはできず、入間市の観光振興や狭山茶振興への効果が高い。今後も効果とコストのバランスを意識しながら、効果の高い事業となるよう努めていく。最終的には、「茶の輪」を通して、国内外の沢山の方に「入間市」の魅力を知っていただき、「入間市」への来訪者を増やすことを目指している。</p>				
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)					
特記事項					